



NV8-N555SS/NVE-N555SS

HDD Car Navigation System

取付説明書

目次

安全にお使いいただくために	2
1. はじめに	4
2.1 GPSアンテナ取付	6
2.2 音声認識用マイク / 発話ボタンを取り付ける	7
2.3 NVE-N555SS購入の場合	8
2.4/2.5/2.6 NV8-N555SS購入の場合	8
3. ナビゲーションを取り付ける	16
4. リモコンホルダーを取り付ける	19
5. 接続する	20
6. 確認する	31
7. システム接続状況を知る	31
8. 車速パルスを確認する	32
9. 画面表示位置を動かす	33

販売店様へ

製品取り付け終了後に、必ずこの取付説明書をお客様へお渡しください。

安全にお使いいただくために、必ずお守りください

- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店での取り付けをお薦めします。
- ご使用前に、この取付説明書と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この取付説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

助手席エアバッグの近くに製品を取り付けしないでください。エアバッグの動作を妨げ、事故・ケガの原因になります。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。





注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。
火災・故障の原因になります。



付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



アンテナは、車幅・車の前後からはみ出ない場所に取り付けてください。歩行者などに接触して、事故・ケガの原因になります。



禁止

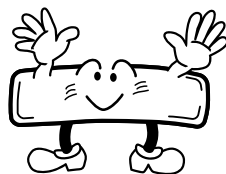
取り付け上のご注意

- ハードディスク（HDD）は強磁界に弱い為、ナビゲーション本体をスピーカーまたは磁力を持つ製品などからなるべく離して取り付けてください。HDD内のデータが消去される場合があります。
- ナビゲーション本体は、シート下のエアコン吹き出し口近くなど、高温（50℃以上）となる場所には取り付けないでください。HDD内のデータが消去される場合があります。

1.はじめに

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。

- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買い上げの店より入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- TVチューナーとモニター間の距離がありすぎて、付属のケーブルでは長さが足りない場合は、別売の延長ケーブルをお買い上げ店へご注文ください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- RCAコード、ピンコード
家庭用機器の信号の受け渡しに利用される、RCA社考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ/ビデオ/テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 不明な点はお買い上げの店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。

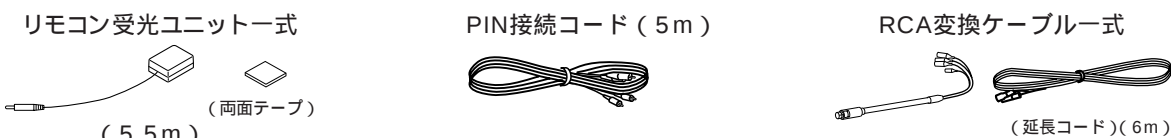


1 付属部品を確認し、工具/取り付け情報をそろえる。

各モデル共通

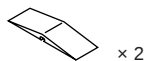


< NVE-N555SS >



< NV8-N555SS >

防水パッド
(アンテナケーブル
添付)



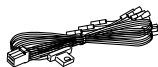
× 2

コードホルダー



× 4

電源コード (2m)
(モニター側)

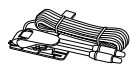


TVスタンド式
TVスタンド コードクランプ



× 3

TVアンテナ (6m)

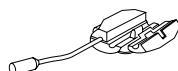


× 2

マジックテープ
(TVチューナー用)



圧着コネクター



クロス



固定用ネジ



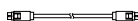
× 3

コードクランプ



× 6

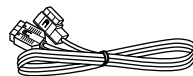
RGB入力コード
(5m)



クリーナーセット
(TVアンテナ取付用)



モニターコード
(2m)



ピーコン取り付け用部品

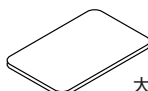
ピーコンアンテナ
(6m)



角度調整台座



両面テープ



大×1、中×1、
小×2

コードクランプ



× 3

- 2 車を安全で平坦な場所に停める。
パーキングブレーキをかけ、イグニッションキー（エンジンキー）を抜く。



Memo

- ナビゲーションの付けかえ等の場合は、市販品のマジックテープをご使用ください。
- ナビゲーションの付けかえ等でGPSアンテナを取り外すときには、アンテナ取り付けプレートを忘れずにいっしょに取り外すようにしてください。
また、取り外しの際には変形等が考えられますので、作業には十分ご注意ください。

2.1 GPSアンテナ取付

ご注意

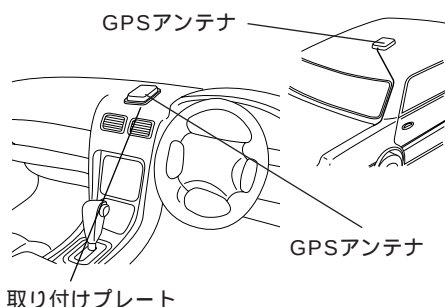
車種によっては熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプのガラスがあります。このガラスは電波を通しにくい性質がありますので、この場合は車外に取り付けることをおすすめします。詳しくは、お買い上げ店にお問い合わせください。



- アンテナの磁石は非常に強力です。車体に傷が付かないよう慎重に作業してください。また、磁気に弱いもの（磁気カード、時計など）には近づけないでください。
- アンテナのコードは非常にデリケートな部分です。必要以上に力を加えたり、曲げたりしないでください。
- アンテナには、塗装しないでください。受信性能が落ちる場合があります。
- 洗車の際に、圧力がかかった水が直接アンテナにかからないようにしてください。アンテナ内部に水が侵入すると受信性能が落ちる場合があります。
- アンテナ取り付けプレートは、車内用です。車外には使用しないでください。
- なるべく水平になるように取り付けてください。傾いた取り付けは、感度低下の原因になります。
- アンテナをダッシュボードに取り付ける場合は、TVモニターケーブルとGPSアンテナが近づくと（15cm以内）GPS受信が出来ない場合があります。
- 別売のETCユニットやビーコンユニット等他機器に近づけて取り付けると、お互いに悪影響を与え合う可能性があります。取り付け場所には、十分ご注意の上、他機器とは十分な間隔を確保してください。なお、ナビゲーション本体とも50cm以上離して取り付けてください。

1

- アンテナをルーフに取り付けるとき。
貼り付け面の汚れを落としてから、アンテナを貼り付ける。
- アンテナをダッシュボード・リアトレイに取り付けるとき。
 - ・ 貼り付け面の汚れを落としてから、取り付けプレートを貼り付ける。
 - ・ 取り付けプレートにアンテナを貼り付ける。
 - ・ なるべくガラス面に近い位置に取り付ける。

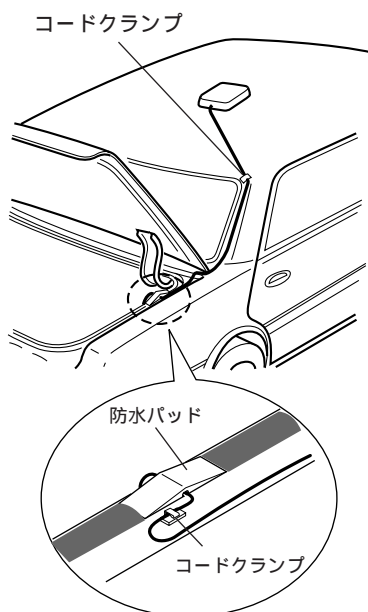


2

- コードを固定する。
コードクランプでコードを固定する。防水パッドの前後をコードクランプでコードを固定し、車の防水ゴムが接触する部分に、パッドを移動させる。



トランクの開閉で、防水パッドが移動しない様にコードクランプを固定してください。



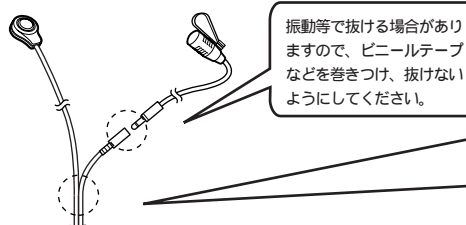
上記例のような車の場合、図のようにコードを固定すると、さらにトランク内部に水が入るのを防ぎます。

2.2 音声認識用マイク / 発話ボタンを取り付ける

安全にお使いいただくために、次のような場所に取り付けてください。

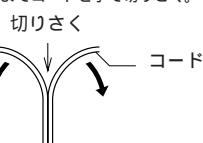
- 安定しているしっかりした場所。
- 運転したときに視界や運転操作の妨げにならない場所。
- 音声認識用マイクは、ドライバーの声が拾いやすい場所（サンバイザーなど）に取り付けてください。発話するときに、姿勢が変わる様なことがあると、走行中の安全に支障をきたします。ドライバーの声が拾いやすい様に、マイクの向きや距離を考慮してから取り付けてください。
- 発話ボタンは、ドライバーが押しやすい場所（シフトレバー付近など）に取り付けてください。ボタンを押すときに、姿勢が変わる様なことがあると、走行中の安全に支障をきたします。ドライバーが押しやすい様に考慮して、取り付けてください。

1 音声認識発話ボタンにマイクケーブルを接続する。

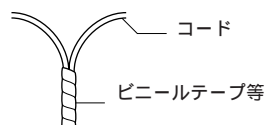


音声認識用マイク / 発話ボタンを設置する際に、コードの長さがたりない場合はコードを切りさいてご使用ください。

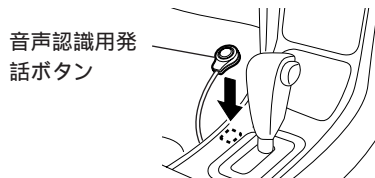
1. 音声認識用マイクと発話ボタンをそれぞれ設置したい場所に取り付け、接続できる長さまでコードを手で切りさく。



2. ビニールテープなどを使って、それ以上さけない様にコードに巻きつける。

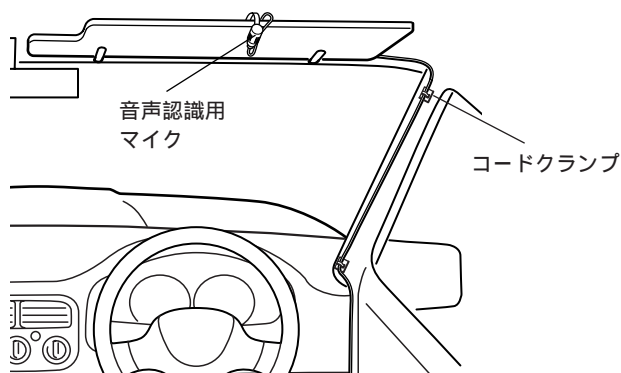


2 音声認識用発話ボタンの裏面に両面テープを貼り付け、裏紙をはがして取り付ける。



両面テープ貼り付けの際は、張り付け面の光沢剤、ゴミ、ホコリなどをよく拭き取ってください。

3 音声認識のマイクを取り付ける。

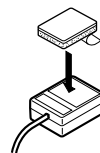


音声認識率をあげる為に、音声認識車種の設定を必ず行ってください。
詳しくは、取扱説明書の「音声認識車種を選択する」を参照してください。

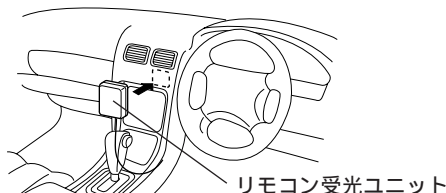
2.3 NVE-N555SS購入の場合(リモコン受光ユニットの取付)

- Memo**
- TVE-T850等のリモコン受光部内蔵モニターを使用する場合は取り付けの必要はありません。
 - 両面テープ貼り付けの際は、貼り付け面の光沢剤、ゴミ、ホコリなどをよく拭き取ってください。

1 リモコン受光ユニットの裏面に両面テープを貼り付ける。

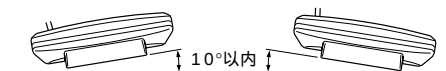


2 両面テープの裏紙をはがし車内の適当な所(ダッシュボード等のリモコンが作動する範囲内)に貼り付ける。



2.4 NV8-N555SS購入の場合(ビーコンアンテナの取付)

1 貼り付け位置を確認する。
ダッシュボード上部のなるべく中央付近で左右の傾きが10度以内で、アンテナの角度を水平面に対して45度(±10度)になるような場所で、できるだけフロントガラスに近い位置に取り付け位置を決めます。
ダッシュボードの傾きに応じて、付属の角度調整台座を使用してください。

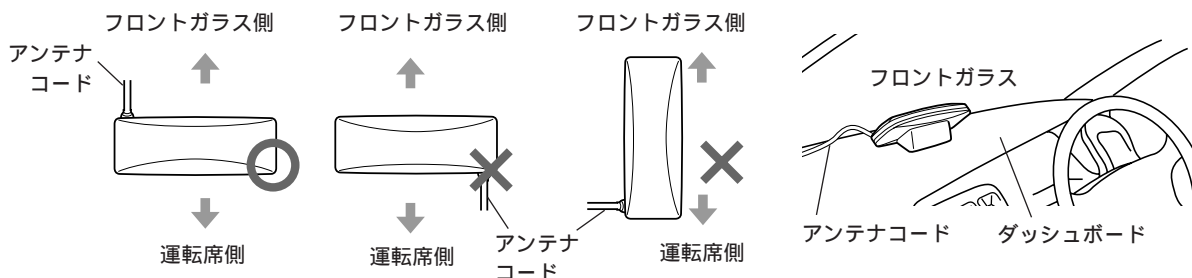


- Memo**
- ビーコンアンテナは無線および光通信を行っておりますので、フロントガラス側には物を置かないでください。通信ができなくなる場合があります。
 - 光ビーコンの設置位置は車線中央になっています。この信号を安定して受信するためには、ビーコンアンテナをフロントガラスに近い位置で、さらにコンソール中央に取り付けすることをおすすめします。受信感度に問題なければ、取り付け位置をかえても問題ありません。
 - 空調機の吹出しがビーコンアンテナに直接かからない位置に取り付けてください。
 - 別売のETCユニットやGPSアンテナ等他機器に近づけて取り付けると、お互いに悪影響を与え合う可能性があります。取り付け場所には、十分ご注意の上、他機器とは十分な間隔を確保してください。
 - 熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプのガラスには、電波を通さないものがありますのでご注意ください。詳しくは、カーディーラーへお問い合わせください。

警告 助手席エアバッグの近くにビーコンアンテナを取り付けない。

ビーコンアンテナ取り付け方向位置

取り付けの際は、必ずフロントガラス側方向にアンテナコードを向けて取り付けてください。
取り付け方向を間違えるとVICSビーコン情報が受信できませんので、ご注意ください。

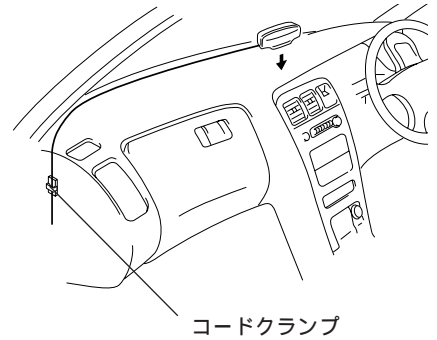


2

ビーコンアンテナを貼り付ける。

角度が水平面に対して45度(±10度)になっているか、またアンテナコードがフロントガラス面に向いているかを確認し、貼り付ける面の光沢剤、湿気・ゴミ・油等をよく拭き取り、貼り付ける。

コードは、コードクランプを使って固定する。

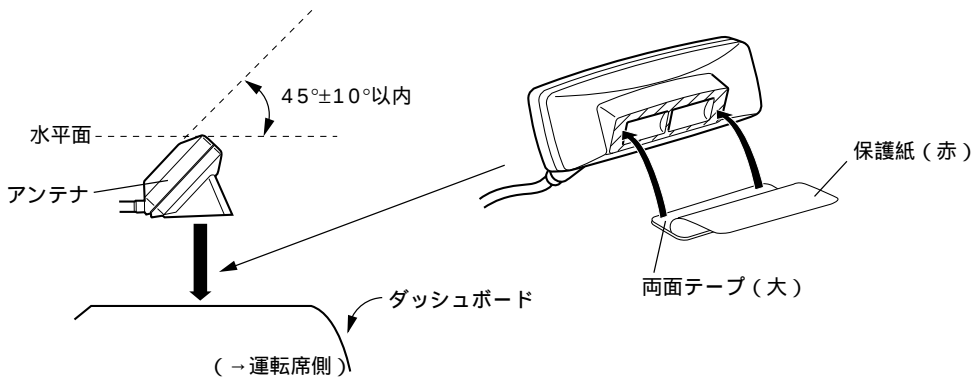


 Memo

- 車内温度が低い時（冬季）には、貼り付ける側をドライヤーで暖めてから、貼り付けてください。
- 貼り付けたあと、24時間以内は湿気や力を加えないでください。
- <ピーコンアンテナのお手入れ>
柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがひどい時は、中性洗剤を水で薄めてから柔らかい布に含ませ、固くしぼってから拭いてください。ガラスクリーナー、アルコール類などは使用しないでください。変色、変形する場合があります。

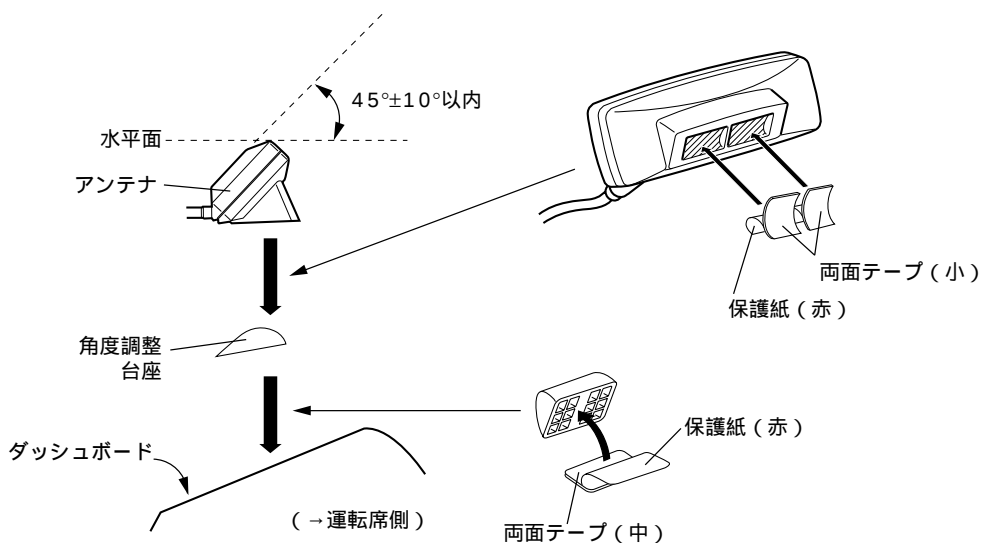
- 平面取り付けの場合

(ダッシュボードの傾き - 10 ~ 0 °位)

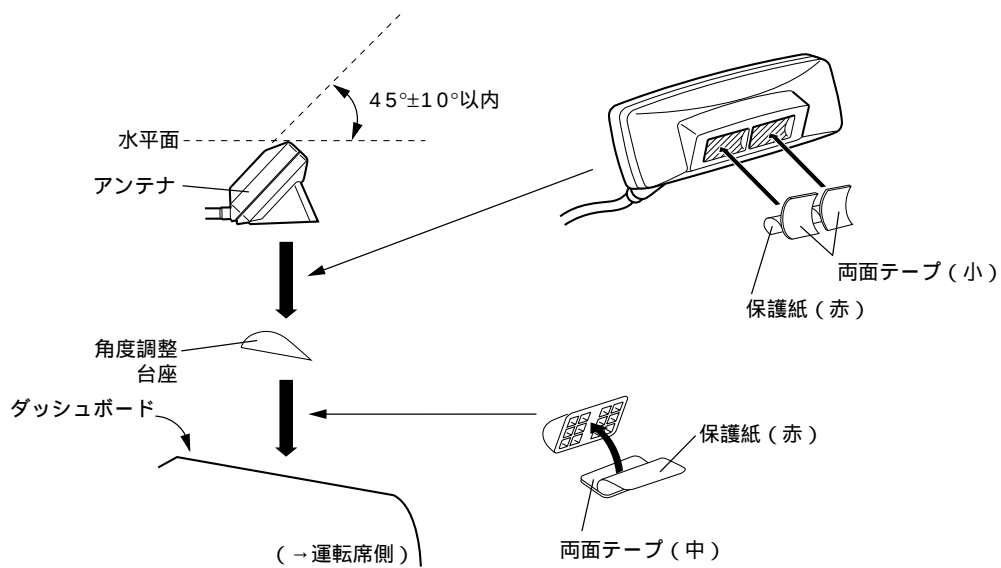


- 前方傾斜取り付けの場合

(ダッシュボードの傾き - 25 ~ - 11 °位)



● 後方傾斜取り付けの場合
(ダッシュボードの傾き $0 \sim -11^\circ$ 位)

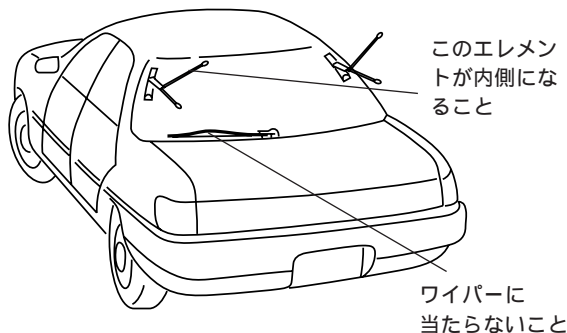


2.5 NV8-N555SS購入の場合 (TVアンテナ、TVチューナーの取付)

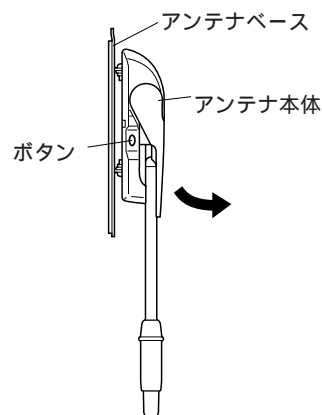
- 1 アンテナの貼り付け位置を決める。
リアガラス上部の左右コーナーの位置となるよう、貼り付け位置を決める。



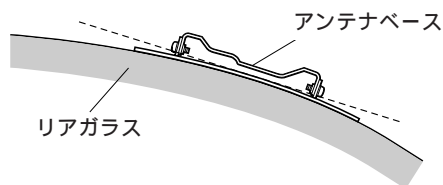
- アンテナは、L側、R側の2種類があります。
- アンテナを塗装面に貼ると塗装を傷める場合がありますので、ガラス面の視界を妨げないところに貼ることをおすすめします。
- ガラスアンテナ車の場合は、ガラスアンテナ面への取り付けは避けてください。ラジオの受信状態が悪くなる場合があります。
- このTVアンテナには、GPSアンテナは内蔵されていません。GPSアンテナは、「2.1 GPSアンテナ取付」を参照して下さい。



- 2 アンテナ本体を外す。
- ① アンテナ本体とアンテナベースを両手でしっかり持つ。
 - ② 両側にあるボタンを押しながら、アンテナ本体を矢印の方向に少しスライドさせて外す。



- 3 アンテナベースを貼り付け面に合わせる。
貼り付け面が曲面の場合は、アンテナベースをその形状に合わせて、あらかじめ曲げておく。
(このとき裏面の保護シートをはがさずに。)
形状に合っていないと貼がれ落ちる場合があります。



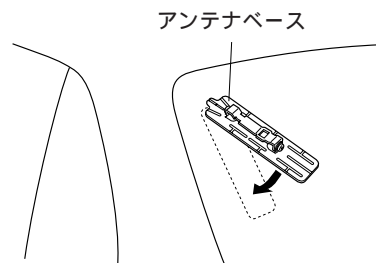
4 アンテナベースを貼り付ける。

- ① 付属のクリーナーとクロスを使用してアンテナベースを取り付ける場所の汚れを拭きとる。
- ② アンテナベースの保護シートをはがす。先端から押しつけながら徐々に貼り付ける。



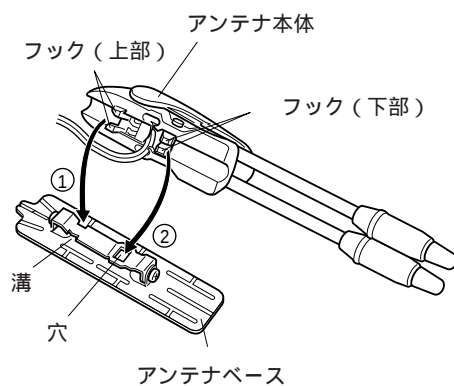
Memo

- 車内温度が低い時（冬季）には、貼り付ける側をドライヤーなどで暖めてから、貼り付けてください。
- 貼り付けたあと、貼り付け部分に空気が入っていないか車内から確認してください。空気が入っているときは、さらに押しつけてください。
- 貼り付け作業が終わったら、24時間は湿気や力を加えないでください。



5 アンテナを組み立てる。

- ① アンテナ本体のフック（上部）をアンテナベースの溝に引っかけて、上へ少しスライドさせる。
- ② アンテナベースの穴にアンテナ本体のフック（下部）を「カチッ」と音がするまで差し込む。



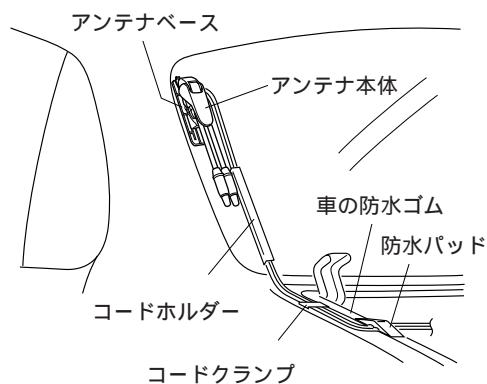
6 コードを固定する。

付属のクリーナーとクロスを使用して、コードホルダー、コードクランプを取り付ける場所の汚れを拭き取り、防水パッドを貼り付け、コードを固定する。



Memo

アンテナのコードは非常にデリケートな部分です。必要以上に力を加えたり曲げたりしないでください。

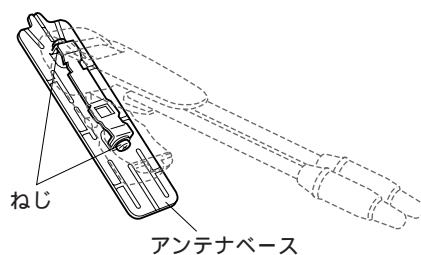


7 エレメントを引き伸ばす。

- ① アンテナ本体を起こし、エレメントを引き伸ばす。
- ② エレメントが車幅からはみ出す場合は、アンテナベース両端のネジをゆるめて、はみださないようプラスドライバーを使って調整する。

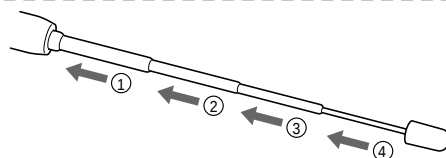


- アンテナ本体の角度調整（3段階）やエレメントを引き伸ばすときには、アンテナベースを手で押さえながら静かに作業を行ってください。
- アンテナのお手入れ
錆を防ぐ為にアンテナのエレメント部分は、こまめにタオルなどで拭いてください。
その際、油などを使うと樹脂部分をいためることがありますので、使わないでください。



エレメントの収納

エレメントを収納するときは、太い部分から順に収納してください。先端は細くなっていますので、ていねいにお取り扱いください。



8 TVチューナーを取り付ける。

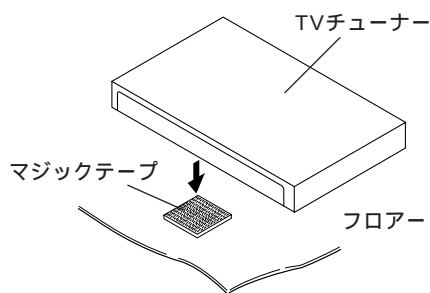
TVチューナー底面にマジックテープのざらざらしたほうを貼る。

9 取り付け位置にマジックテープを貼る。

マジックテープのやわらかいほうを取り付け位置に貼り、TVチューナーを取り付ける。



- カーペットによっては、マジックテープのやわらかいほうを貼りつけなくても固定できるものもあります。
- シート下のエアコン吹き出し口近くなど、高温となる場所を避けて取り付けてください。
- 足で踏みつける危険性がある場所には取り付けしないでください。



2.6 NV8-N555SS購入の場合（モニターの取付）

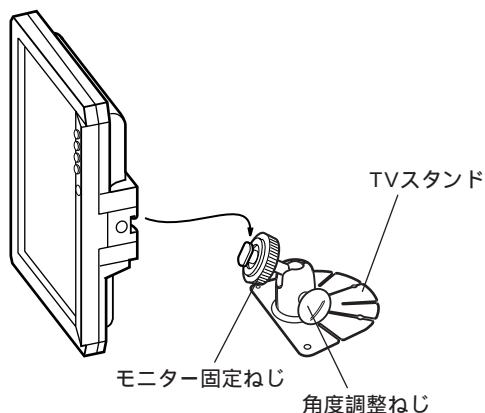
1 TVスタンドを組み立て、モニターを仮留めする。

- ① TVスタンドの角度調整ねじをゆるめ右図を参照して、TVスタンドを組み立てる。
- ② TVスタンドにモニターを仮留めする。



Memo

必ず、付属のTVスタンドをお使いください。



2 取り付け位置を確認する。

- ① TVスタンドをガムテープで仮留めする。
- ② モニターを調整ねじで、見やすく安全な位置に調整する。

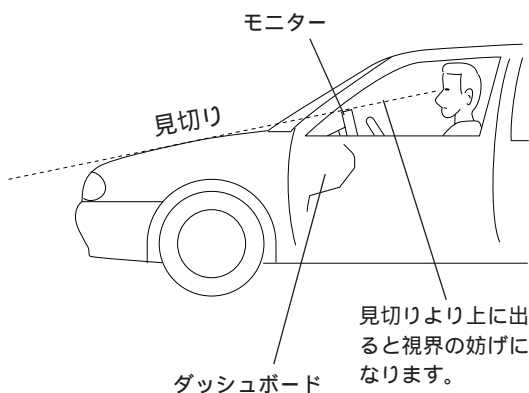
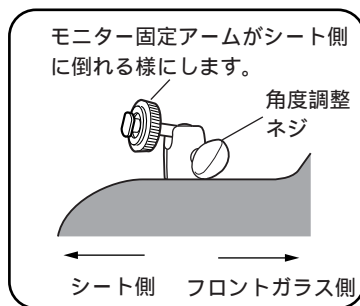
安全にお使いいただくために、次のような場所に取り付けてください。

- 安定しているしっかりした場所
- モニターを付けて運転したときに視界を妨げない場所
- シートベルトを締め、前かがみになった状態でモニターにぶつからない場所
- ハンドルを切る操作でモニターにぶつからない場所
- 助手席エアバックの動作を妨げない場所



Memo

- ダッシュボードの表面が、本革・木製パネル・布張りなど樹脂製でない場合は、スタンドをはがすとき表面を傷めることがありますのでご注意ください。
- ナビゲーションの付けかえ等でTVスタンドを別の車でも使用するときには、台座部が変形する可能性がありますので、十分ご注意ください。作業を行ってください。
- 空調機の吹出しがモニターに直接かからないようにしてください。



3 TVスタンドから、仮留めしたモニターを外す。

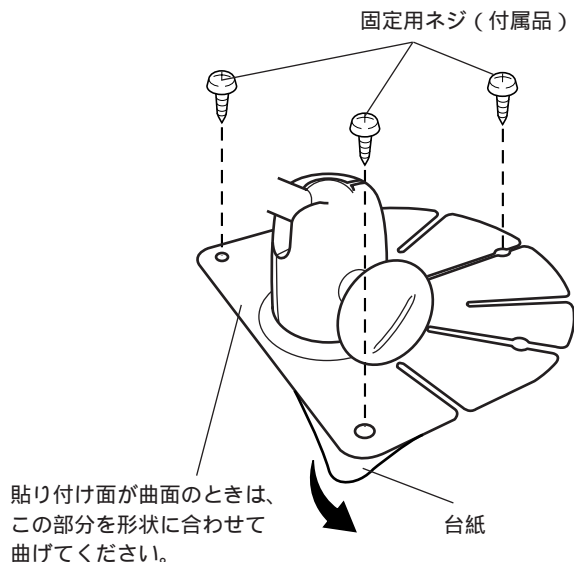
4

TVスタンドの台紙をはがし、貼り付ける。

付属のクリーナーを使用して、貼り付け場所の汚れを拭き取り、貼り付ける。



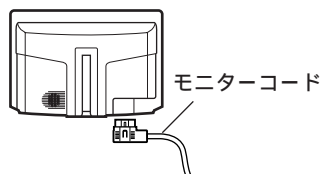
- 車内温度が低い時（冬季）には、貼り付ける側をドライヤーなどで暖めてから、貼り付けてください。
- 貼り付けたあと、24時間は湿気や力を加えないでください。
- 確実な貼り付けができないときは、固定用ネジ（付属品）による取り付けをお勧めします。



5

モニターに、モニターコードを接続する。

モニター側のTVチューナー接続端子に、モニターコードのコネクターを「カチッ」と音がするまで差し込む。



6

手順「1」を参考にモニターをTVスタンドに取り付ける。

モニターの背面金具にTVスタンドを取り付ける。

コードは、コードクランプを使って固定する。

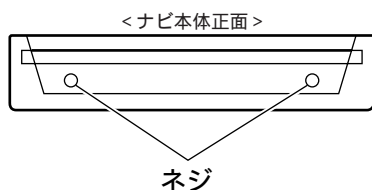


- お使いになる前に「モニターとスタンド」「スタンドと車側の取り付け」がしっかり固定していることを確認してください。
- TVE-T850と組み合わせた場合は、「システム割込み」設定を「2画面TV」に設定してください。詳しくは、取扱説明書「システム割込みの設定について」を参照してください。

3. ナビゲーションを取り付ける

ナビゲーション本体取り付け上のご注意

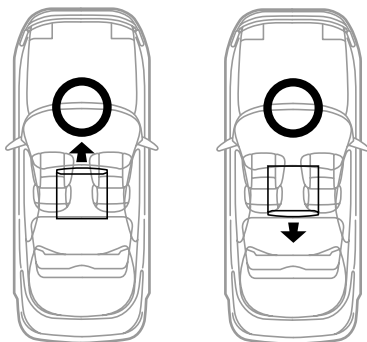
- ナビゲーション本体は、シート下のエアコン吹き出し口近くなど、高温（50℃以上）となる場所を避けて取り付けてください。
ハードディスク（HDD）内の全データが消去される場合があります。
- HDDは強磁界に弱い為、データが消去される場合があります。ナビゲーション本体をスピーカーまたは磁力を持つ製品などからなるべく離して取り付けてください。
- 車内の温度が低い（0℃以下）場合ではHDDが正常に動作しない場合があります。常温になってからお使いください。
- HDDは精密な部品を用いて精密に組み立てられています。性能を維持するために、ナビゲーション本体に無理な力を加えたり、強い振動を与えないでください。
- 下図のネジは絶対に外さないでください。ネジを外して、HDDを取り出したりすると故障の原因になります。



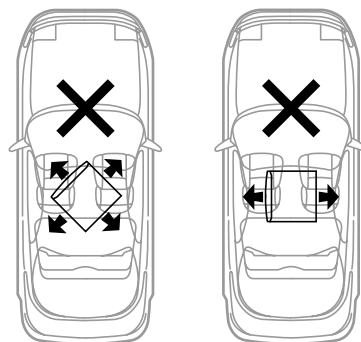
＜ナビゲーション本体設置方向のご注意＞

ナビゲーション本体正面を、車の進行方向または後退方向になるように取り付けてください。

- ・ ディスク挿入口が進行方向または後退方向であること。



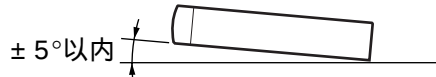
- ・ ディスク挿入口が斜めまたは左右方向のときは誤差の原因になる。



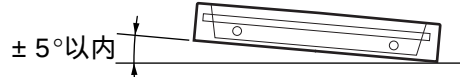
＜ナビゲーション本体の取り付け角度＞

本機取り付け角度は、 $\pm 5^\circ$ の範囲内で、なるべく水平に取り付けてください。取り付け角度が大きいと現在地を正しく表示できなくなるほか、HDDの故障の原因となります。

（側面）

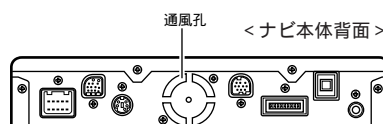


（正面）



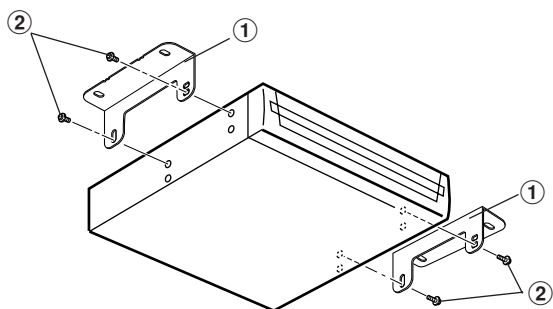
注意

通風孔や放熱板をふさがない。
通風孔・放熱板をふさがないでください。
通風孔・放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因になります。

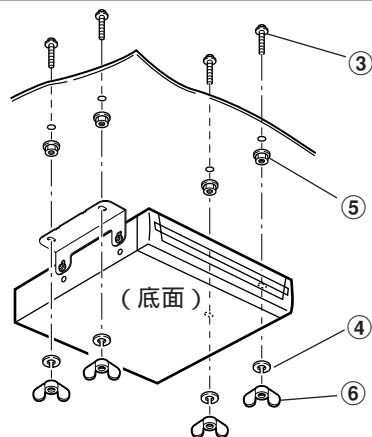


● リアトレイにつり下げる場合

- 1 本機にブラケット①を取り付ける。
本機両側面にダブルワッシャー付ネジ (M4×8) ②で取り付ける。



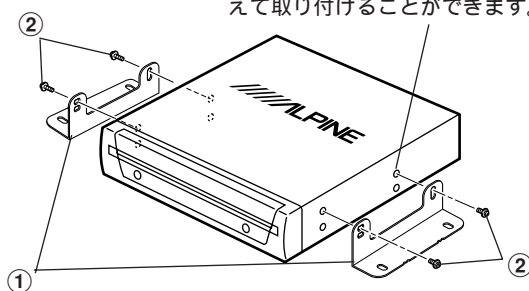
- 2 本機のドアが開閉することを確認し、リアトレイに固定する。
六角ボルト (M6×50) ③、座付六角ナット (M6) ⑤とスプリングワッシャー (M6) ④、蝶ナット (M6) ⑥でしっかり固定する。



● 直接床に取り付ける場合

- 1 本機にブラケット①を取り付ける。
本機両側面にダブルワッシャー付ネジ (M4×8) ②で取り付ける。

取り付ける位置のネジ穴 (上下) に
合わせ、左右のブラケットを組みか
えて取り付けることができます。

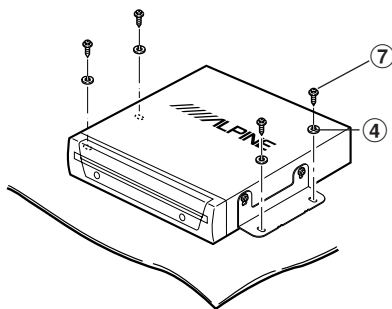


- 2 床に取り付ける。
座付タッピングネジ (M5×15) ⑦とスプリングワッシャー (M6) ④で床に取り付ける。



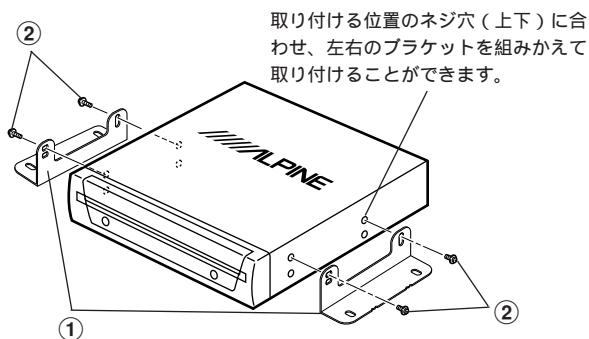
警告

穴をあけるときは、パイプ・
配線類を傷つけない。

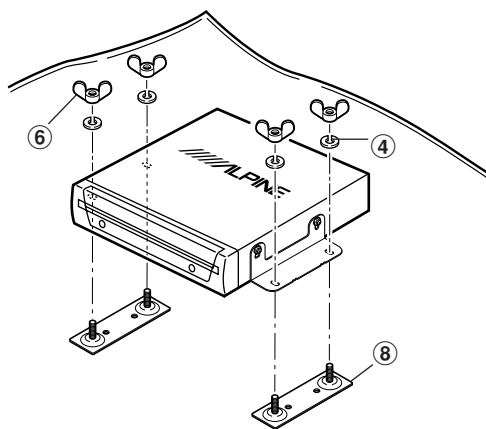


● カーペットに取り付ける場合

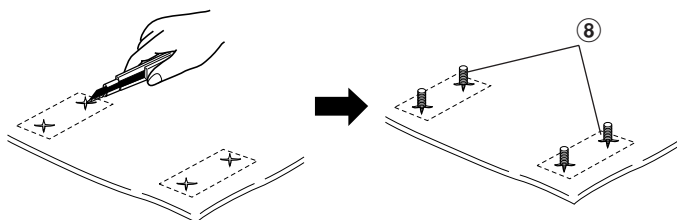
- 1** ブラケット①を取り付ける。
本機両側面にダブルワッシャー付ネジ（M4×8）
②で取り付ける。



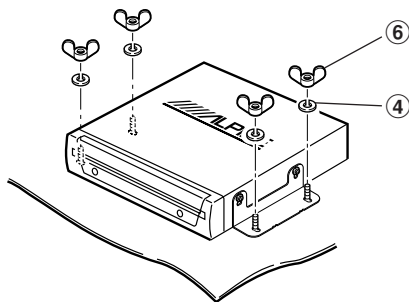
- 2** フロアーベース⑧と本機をスプリングワッシャー（M6）④と蝶ナット（M6）⑥で仮止めする。
カーペットの下に本機を設置する位置を決める。



- 3** フロアーベース⑧のみを設置する場所に残し、カーペットにカッターで十字に切り込みを入れ、フロアーベース⑧を下から差し込む。



- 4** スプリングワッシャー（M6）④と蝶ナット（M6）⑥でカーペット上に取り付ける。



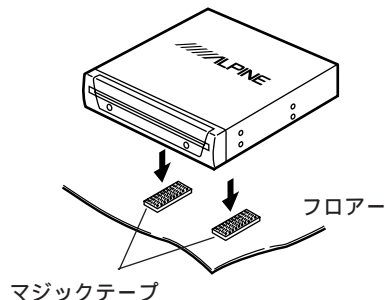
● マジックテープで取り付ける場合

1 マジックテープを貼る。
ナビゲーションユニット底面にマジックテープのざらざらしたほう2枚を貼ります。

2 取り付け位置にマジックテープを貼る。
マジックテープのやわらかいほう2枚を取り付け位置に貼り、本機を取り付ける。

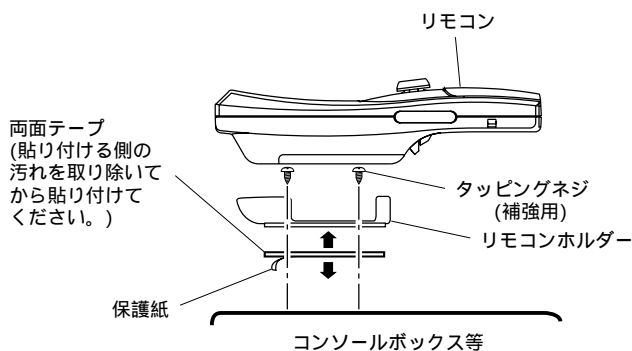


カーペットによっては、マジックテープのやわらかいほうを貼りつけなくても固定できるものもあります。



4. リモコンホルダーを取り付ける

- リモコンに、直射日光が当たるときは、ホルダーから外してグローブボックスに保管してください。
- 両面テープで確実な取り付けができない場合は、ネジを使って取り付けてください。



警告

助手席エアバッグの近くにリモコンホルダーを取り付けない。
不適切な取り付けをしますと、エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで部品が飛ばされ、事故やケガの原因になることがあります。

5. 接続する接続することに ☐OK に✓点をつけてください。

1 はじめに

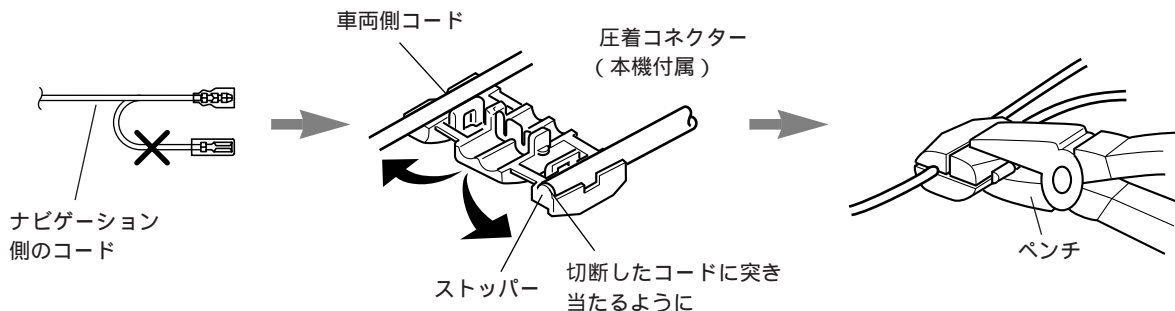
- 接続は、車の電装系を理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 接続は「奥までしっかり差し込んで」ください。誤接続を避ける為に、接続するたびに接続図にチェックマークを書き込んでください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 接続の際は、それぞれの製品に付属されている専用コードをご使用ください。なお、関連製品の接続に関する説明書も合わせてご覧になり、作業を進めてください。

2 バッテリーマイナス端子を外す。



- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。

3 車両ハーネスを確認する。 必要に応じて圧着コネクタを装着する。



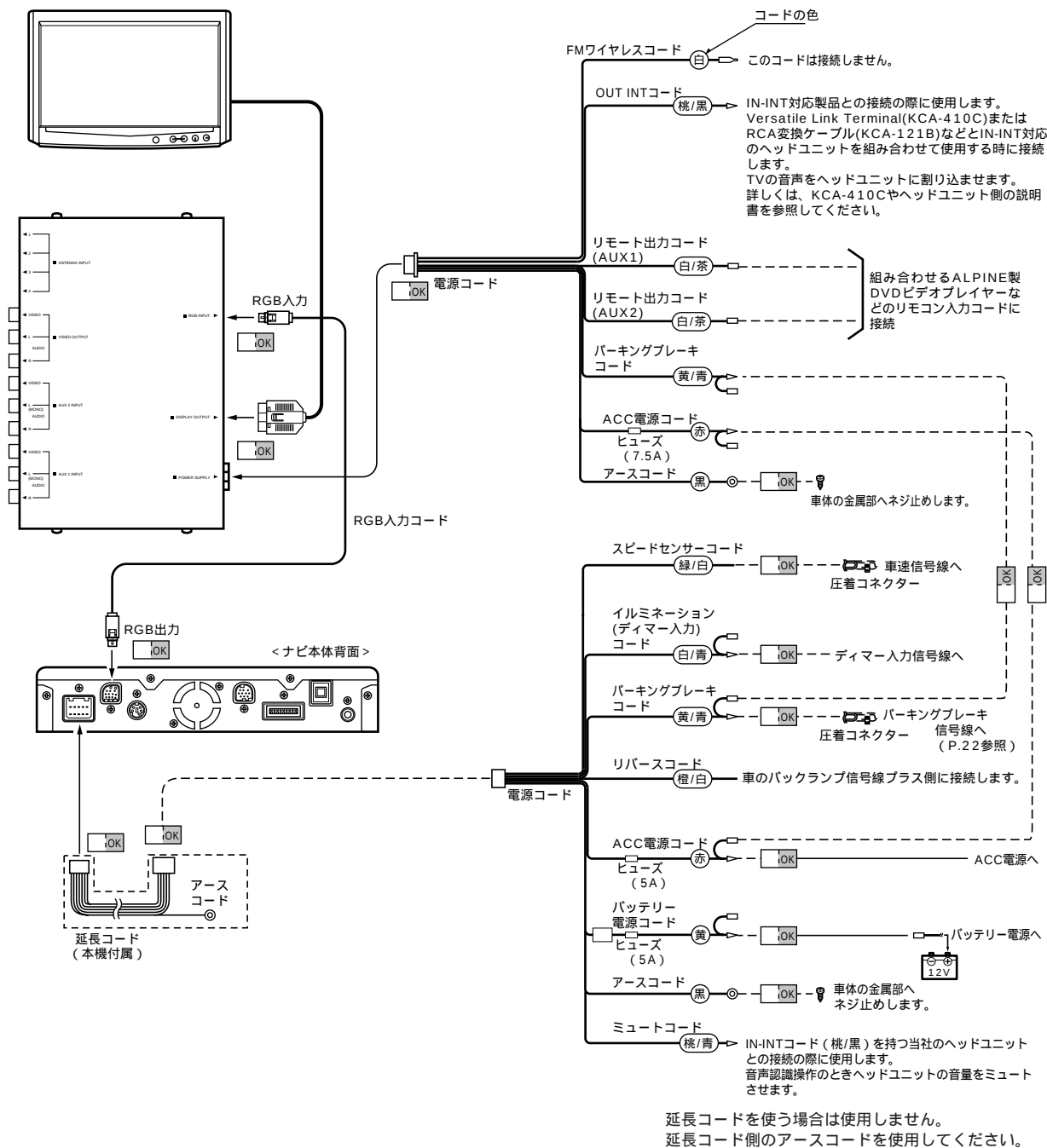
4 接続する。



注意

正しい接続をする。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

● NV8-N555SSとTVモニター、TVチューナーの接続



- ナビゲーションとTVチューナーは、なるべく離して取り付けてください。
- RGB入力コードの接続は確実に行ってください。不十分な接続は、色合いの異常やリモコン操作不能などの動作不良につながります。
- RGBとは、画像をR (赤) G (緑) B (青) の光の3原色に分けてモニターへ送ります。信号をまとめて送る通常のビデオ接続 (RCA接続) に比べ画質が良くなります。このコードには、映像・音声・制御系の信号が流れます。したがってアルパイン製TVモニターであればナビとの接続はこれ1本だけで十分です。コードが抜けないようにきっちり差し込んでください。
- TVE-T850と組み合わせた場合は、「システム割込み」設定を「2画面TV」に設定してください。詳しくは、取扱説明書「システム割込みの設定について」を参照してください。

電源補足説明 → P.22

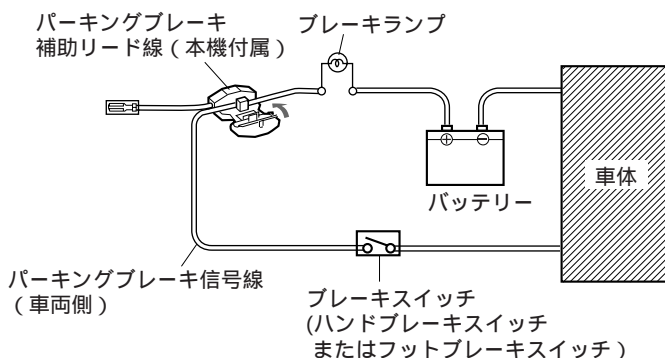
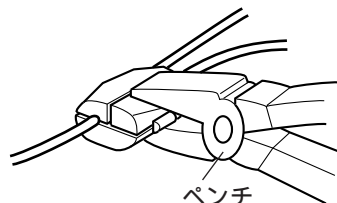
TVアンテナの接続 → P.23

音声認識用マイク / 発話ボタン、GPSアンテナ、ビーコン (VICS) PDC方式携帯電話の接続 → P.24

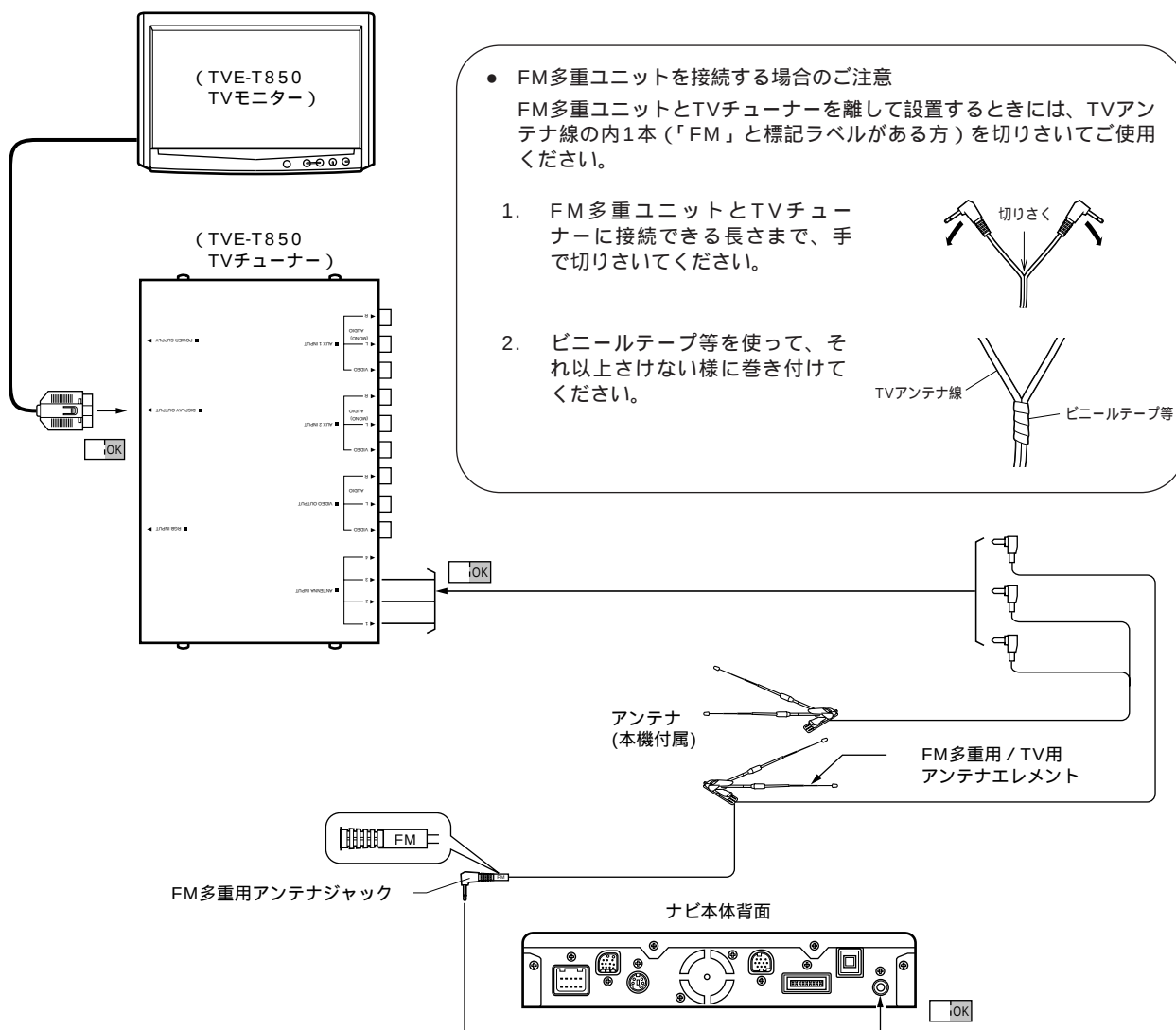
コード名称	補 足 説 明
FMワイヤレスコード	音声をFM信号で飛ばす為のコードです。次の事に注意して引き回してください。 ・曲げたり先端のキャップを外したりしない ・チューナの下を通さない ・電源コードから離す ・車のアンテナに平行に引き回す
OUT INTコード	IN-INT対応の製品と組み合わせて、TV音声をオーディオ側から出す場合に使用します。(他に別売のKCA-410CまたはKCA-121Bが必要となります)
イルミネーションコード (ディマー入力コード)	照明(ポジションランプなど)の状態を本機に伝えるため、照明(ポジションランプなど)をONにしたとき電源が供給されているところに接続してください。 メーター照明が調整できる車の場合：車の照明をONにして、画面が「ちらつく」ときは、他のコード(スモールライトコードなど)へ接続してください。
パーキングブレーキコード	パーキングブレーキの状態を本機に伝えるため、パーキングブレーキスイッチの電源側に必ず接続してください。不明な点はお買い上げ店にご相談ください。
ACC電源コード	エンジンキーポジションが“ACC”のとき、電源が供給されるコードに接続してください。
アースコード	車のボディーの金属部分に確実に接続してください。不十分ですと雑音や誤動作の原因になります。
スピードセンサーコード	走行距離を計測するために車速パルスを利用します。車速パルスコードは車種/年式によって違い、間違った接続は車に重大な影響(ブレーキが効かなくなるなど)を与えますので、販売店に問い合わせ確実に接続してください。(お買い上げ店での接続をお勧めします。) 車速信号がとれない車は、別売の車速パルス発生器(NVE-K300)をご使用ください。
バッテリー 電源コード ミュートコード	常に電源が供給される(バッテリー電源プラス)コードに接続してください。 音声認識を使用する際、オーディオ側の音声にミュートをかける場合に使用します。当社のIN-INT対応ヘッドユニット(IVA-D300J、IVA-D901J、IVA-D900J、IVA-C801J/IVA-M701J/IVA-M700J/JSを除く)の音声割り込み(IN-INT)コード(桃/黒)に接続してください。
リバースコード	車のバック時に自車位置精度を向上させるために、車のバックランプ信号線のプラス側に接続します。シフトレバーのバック(R)に連動して、自車マークがバックするようになります。

パーキングブレーキを接続する。

車両側のパーキングブレーキ信号線に、
 パーキングブレーキ補助リード線を装着する。
 パーキングブレーキコードは、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に
 接続する。



● NV8-N555SSとTVアンテナの接続



FM多重用アンテナジャックをナビゲーション側端子に接続する場合は、「奥までしっかり差し込んで」ください。

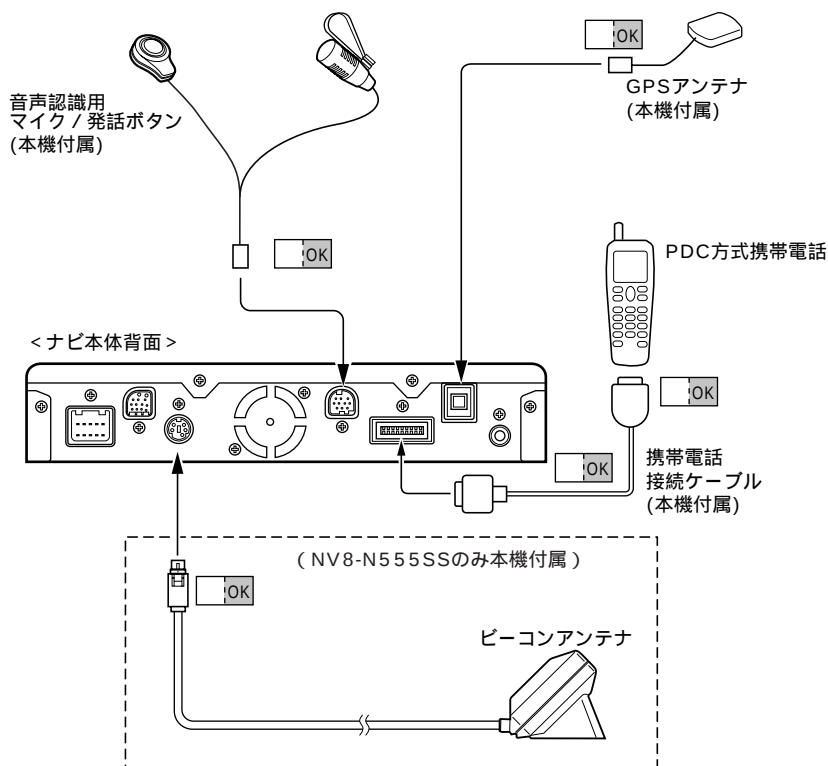
差し込みがあまりい場合は、FM多重放送の受信ができません。

FM多重受信用としてお使いの場合は、TVをみていないときでもFM多重用のアンテナエレメントを伸ばしてご使用ください。



- 「FM」と標記されたアンテナジャック1本は、FM多重受信用としてナビゲーション側に接続し、残り3本のアンテナジャックは、TVチューナー用に使用してください。TVチューナー側は、アンテナジャック3本でも十分な受信感度が確保されます。なお、「FM」標記しているアンテナジャックをTVチューナー側へ接続しても問題はありません。
- TVアンテナコードはナビゲーション本体や他のコード類からなるべく離して配線してください。近づけたり、他のコード類と束ねたりするとノイズの原因になります。

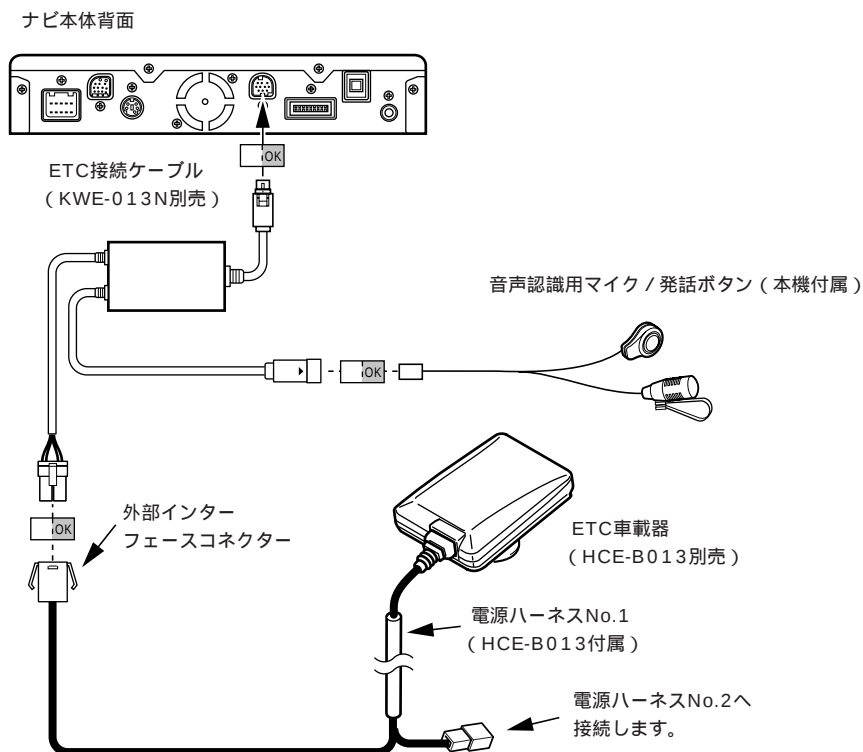
- NV8-N555SS/NVE-N555SSと音声認識用マイク/発話ボタン、GPSアンテナ、ビーコン（VICS）、PDC方式携帯電話の接続



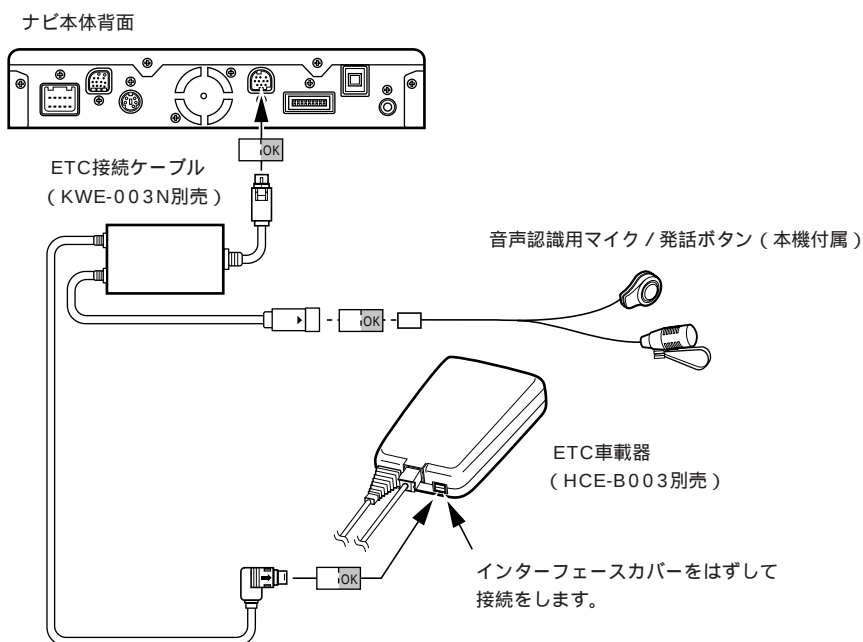
- NVE-N555SSをお買い上げのお客様で、別売のビーコンアンテナHCE-T002、HCE-T011、HCE-T012、HCE-T012S、HCE-T022を接続する場合は、別売の変換ケーブル（KCE-425N）が必要となります。但し、HCE-T022S、HCE-T032、HCE-T052と接続する場合、KCE-425Nは必要ありません。
- 「cdmaOne™」携帯電話と組み合わせる場合は、別売のcdmaOne™接続ケーブル（HCE-B004）を使用して接続してください。
- 携帯電話を本機に接続しても充電されません。十分に充電した携帯電話をご使用ください。
- 接続可能なPDC方式携帯電話の機種については、弊社カタログ、ホームページ <<http://www.alpine.co.jp>>、もしくはインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

● NV8-N555SS/NVE-N555SSと別売ETCユニットの接続

HCE-B013接続時



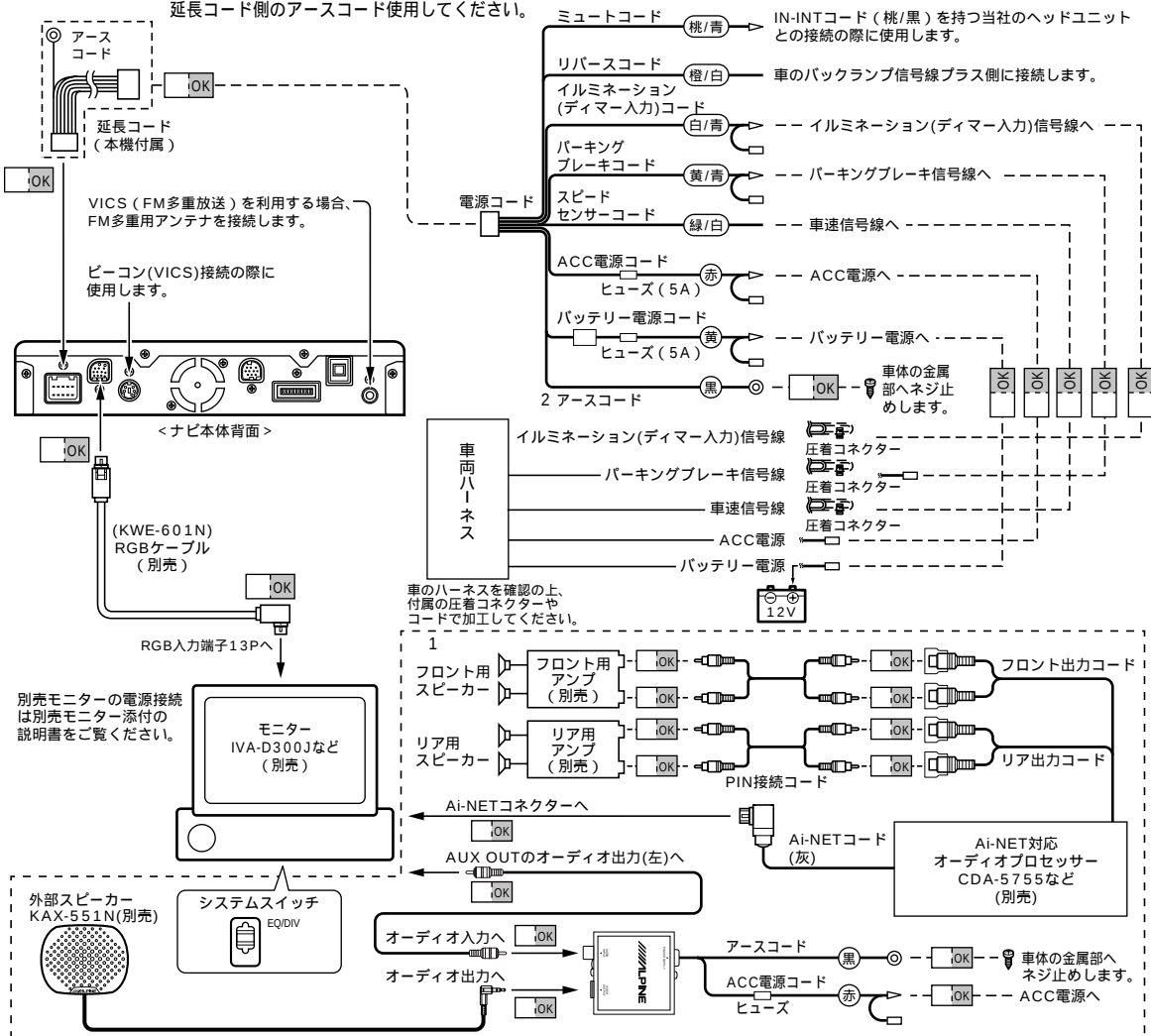
HCE-B003接続時



- それぞれ、専用の別売ETC接続ケーブルが必要です。詳しい接続に関しては、接続するETCユニットの取付説明書も合わせてご覧ください。

● NVE-N555SSと別売モニター（RGB入力端子13P）のRGB接続

- 2 延長コードを使う場合は使用しません。
延長コード側のアースコード使用してください。

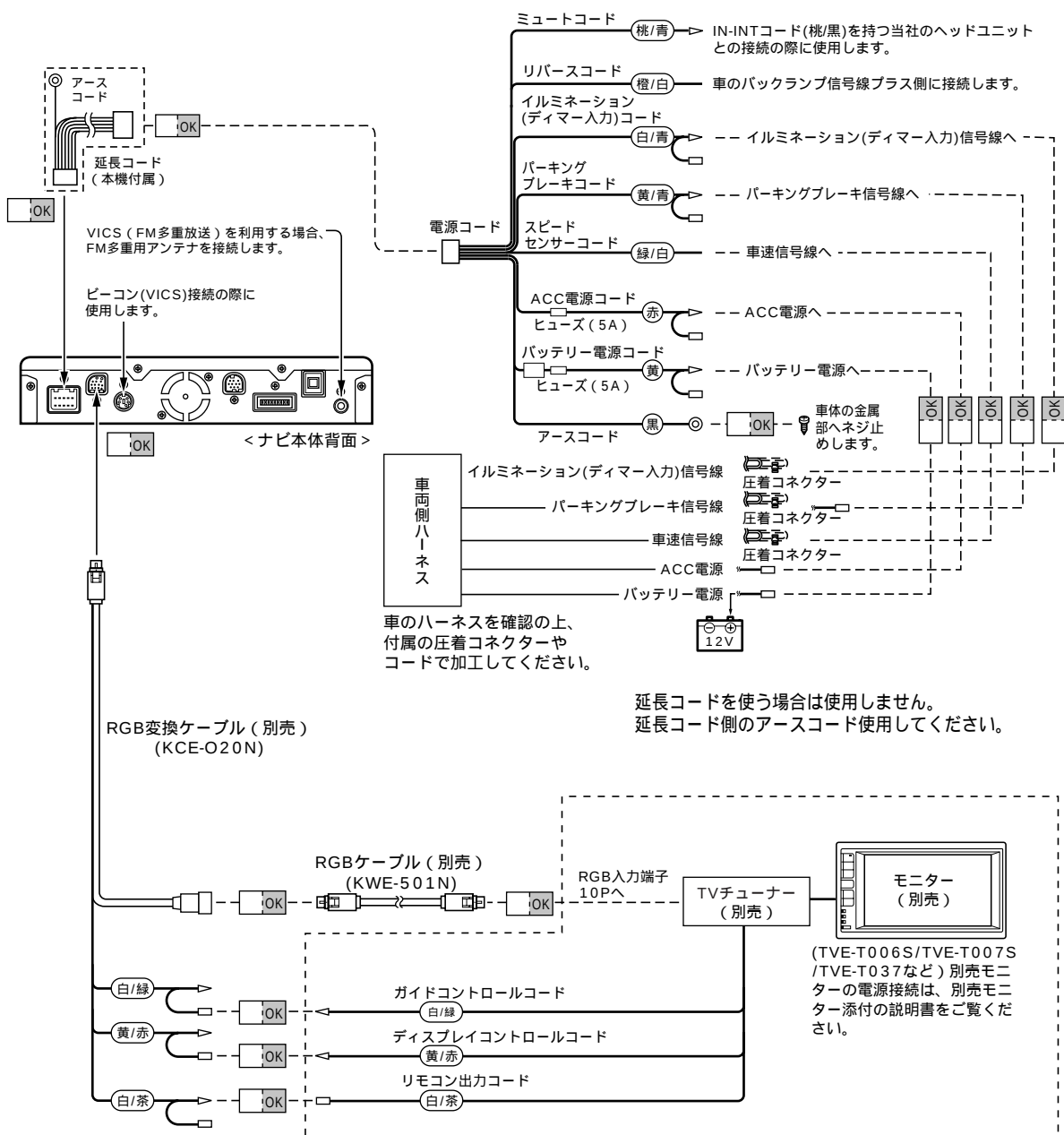


- IVA-D300J、IVA-D901J、IVA-D900J、IVA-C801J、IVA-M701J、IVA-M700J/JS、FVA-W306と組み合わせたお客様へ
音声割込みの音量をIVA-D300J、IVA-D901J、IVA-D900J、IVA-C801J、IVA-M701J、IVA-M700J/JS、FVA-W306からお好みで調整することができます。詳しくは、IVA-D300J、IVA-D901J、IVA-D900Jの取扱説明書「ナビゲーション音声の割込み音量調整（設定）」、IVA-C801J、IVA-M701J、IVA-M700J/JS、FVA-W306の取扱説明書「割り込み機能（MIX LEVEL）」を参照してください。
- 1 IVA-D300J、IVA-D901J、IVA-D900J、IVA-C801J/IVA-M701J、IVA-M700J/JSにオーディオプロセッサー（PXA-H900/PXA-H701/PXA-H700を除く）外部アンプを組み合わせた場合は、音声割込みはしません。別売の外部スピーカーKAX-551Nが必要になります。
上記の接続図を参照してください。なお、詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
さらに、上記システムのと看、IVA-D300J、IVA-D901J、IVA-D900J、IVA-C801J/IVA-M701J、IVA-M700J/JS側の設定が必要になります。IVA-D300J、IVA-D901J、IVA-D900Jの取扱説明書「ナビゲーションモードを設定する」、IVA-C801J/IVA-M701J、IVA-M700J/JSの取扱説明書、「リアモニターセレクト機能（AUX OUT）」を参照してください。
- 本機ナビゲーションは、ワイド画面出力になっております。ワイドモニター以外のモニターを接続したときは圧縮表示されますが故障ではありません。
- RGBケーブルの接続は確実に行ってください。不十分な接続は、色合いの異常やリモコン操作不能などの動作不良につながります。
- このシステムでは付属のリモコン受光ユニットは接続の必要はありません。
- FM多重アンテナは市販のミニプラグ（φ3.5mmモノプラグ）タイプのものをご使用ください。

電源補足説明 ➡ P.22

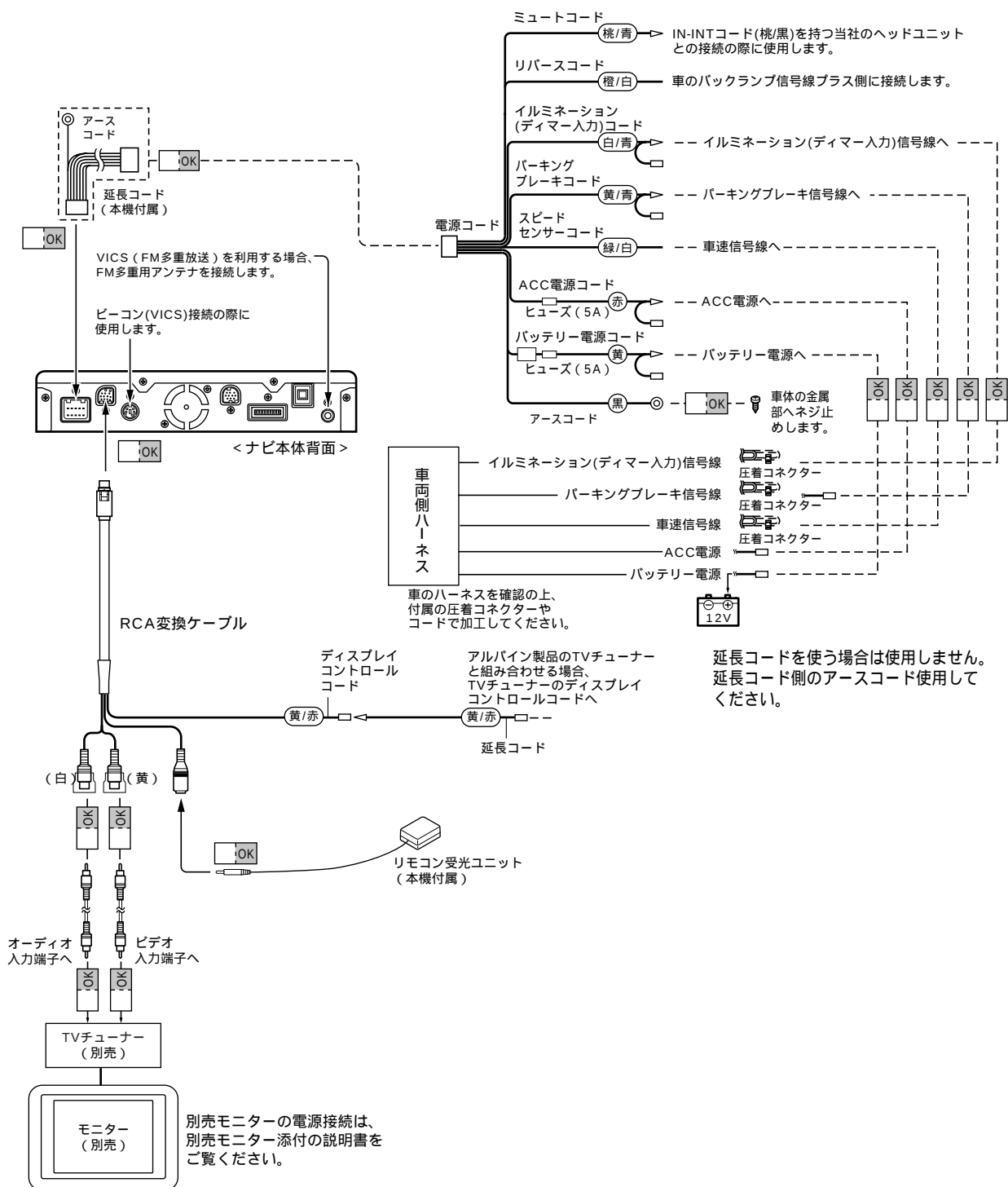
音声認識用マイク／発話ボタン、GPSアンテナ、ビーコン（VICS）、PDC方式携帯電話の接続 ➡ P.24

● NVE-N555SSと別売モニター（RGB入力端子10P）のRGB接続



- 本機ナビゲーションは、ワイド画面出力になっております。ワイドモニター以外のモニターを接続したときは、圧縮表示されますが、故障ではありません。
- RGB変換ケーブル/RGBケーブルの接続は確実に行ってください。不十分な接続は、色合いの異常やリモコン操作不能などの動作不良につながります。
- このシステムでは付属のリモコン受光ユニットは接続の必要はありません。
- FM多重アンテナは市販のミニプラグ（φ 3.5mmモノプラグ）タイプのものをご使用ください。

● NVE-N555SSと別売モニターのRCA接続



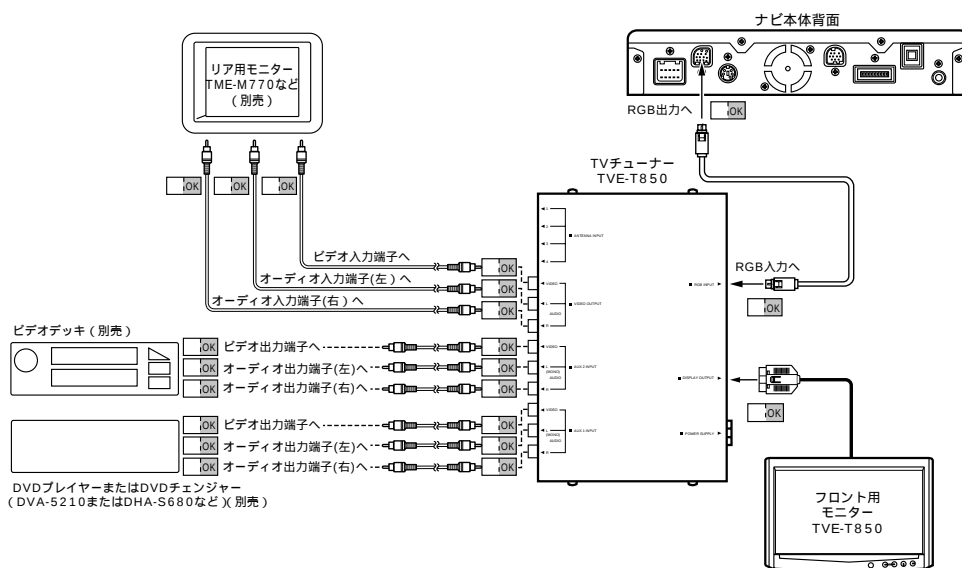
 Memo

- 本機ナビゲーションは、ワイド画面出力になっております。ワイドモニター以外のモニターを接続したときは、圧縮表示されますが、故障ではありません。
- FM多重アンテナは市販のミニプラグ（φ3.5mmモノプラグ）タイプのものをご使用ください。

電源補足説明 ➡ P.22

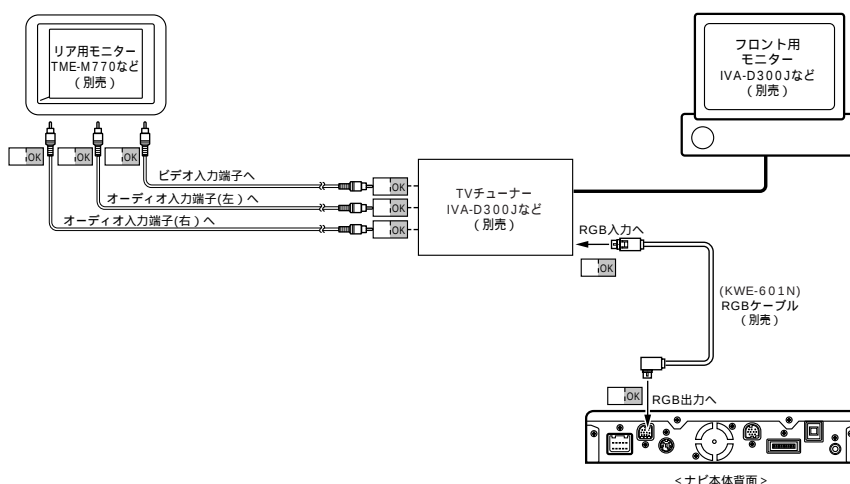
音声認識用マイク / 発話ボタン、GPSアンテナ、ビーコン (VICS)、PDC方式携帯電話の接続 ➡ P.24

● NV8-N555SSとリアモニター（別売）、ビデオまたはDVD製品との接続



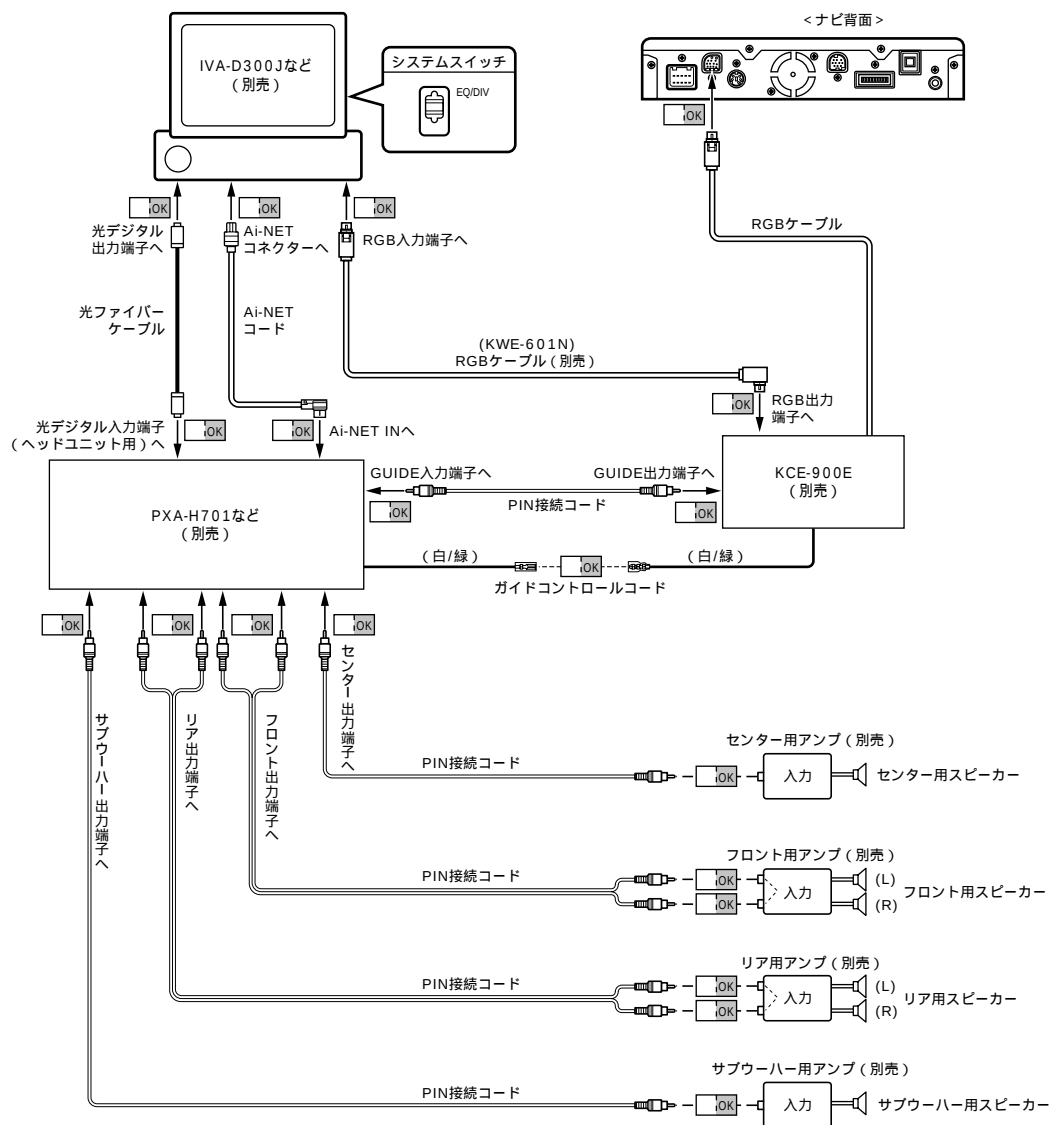
- リア用モニターとフロント用モニターで別々の映像を表示させたいときは、フロント用モニター側の取扱説明書をご覧ください。
- ビデオのオーディオ出力がモノラルのときは、TVチューナー側はオーディオ入力L（MONO）に接続してください。
- 別売モニターの電源接続は、別売モニター添付の説明書をご覧ください。
- 別売ビデオデッキ、別売DVDプレーヤー（DVA-5210など）DVDチェンジャー（DHA-S680）を見るには、添付の取扱説明書をご覧ください。
- 接続するビデオデッキによっては、音が歪むときがあります。その際は、ビデオデッキ側の説明書をご覧ください。

● NVE-N555SSとリアモニター接続可能な別売モニター（IVA-D300Jなど）と別売リアモニターとの接続



- 別売モニターの電源接続は、別売モニター添付の説明書をご覧ください。
- RGBケーブルの接続は確実に行ってください。不十分な接続は、色合いの異常やリモコン操作の不能などの動作不良につながります。
- FM多重アンテナは市販のミニプラグ（φ 3.5mmモノプラグ）タイプのもをご使用ください。

● NVE-N555SSとIVA-D300Jなど（AVヘッドユニット） PXA-H701など（デジタルオーディオプロセッサー）の接続



- 詳しくは、接続する製品の説明書も合わせてご覧ください。
- RGB入力コードの接続は確実に行ってください。不十分な接続は、色合いの異常やリモコン操作不能などの動作不良につながります。

5 正しい接続になっているかもう一度確認する。

6. 確認する

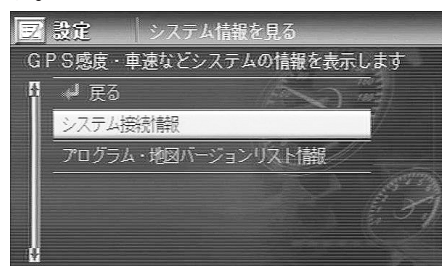
- 1 コード類を固定する。
シートレールなどの可動部などに挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。
- 2 バッテリーマイナス端子を接続する。
- 3 イグニッションキーをONにして、取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
- 4 ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

7. システム接続状況を知る

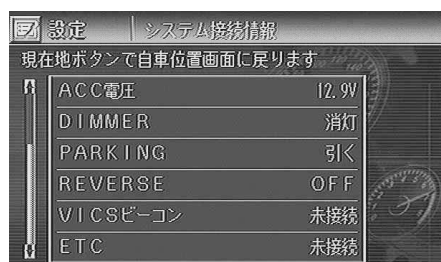
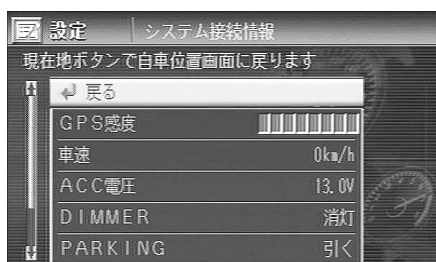
取り付けが終わったら、配線が正しく接続されたか確認をしてください。

本体の電源を入れて、GPS感度、車速、ACC電源、周辺機器の接続状況を画面表示で確認することができます。また、ナビゲーションの動きがおかしいときにも見てください。接続しているのに、「未接続」と表示されたらコード類を確認しましょう。

- 1 **メニュー** ボタンを押して、**ジョイスティック** $\leftarrow \rightarrow$ で「設定」を決定します。
- 2 **ジョイスティック** $\leftarrow \rightarrow$ で「システム」を選び、**ジョイスティック** $\uparrow \downarrow$ で「システム情報を見る」を決定します。
- 3 **ジョイスティック** $\uparrow \downarrow$ で「システム接続情報」を決定します。



- 4 システム情報が表示されます。
ジョイスティック $\uparrow \downarrow$ でページがスクロールします。



- 5 **現在地** ボタンを押して、自車位置画面に戻します。

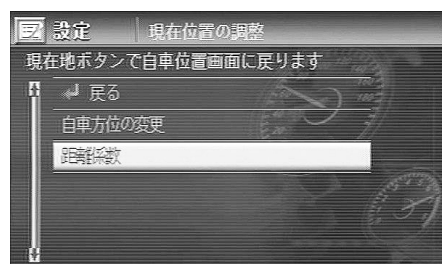
8. 車速パルスを確認する

すべての接続を確認したら、車速パルス信号を正常に感知しているかを確認します。

1 **メニュー** ボタンを押して、**ジョイスティック** $\leftarrow \rightarrow$ で「設定」を決定します。

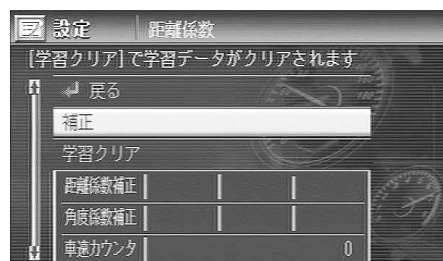
2 **ジョイスティック** $\leftarrow \rightarrow$ で「システム」を選び、**ジョイスティック** $\uparrow \downarrow$ で「現在位置の調整」を決定します。

3 **ジョイスティック** $\uparrow \downarrow$ で「距離係数」を決定します。



調整画面が現れます。

- 走行する前は「車速カウンタ」の数値が「0」になっていることを確認してください。
- 車速カウンタの数値はイグニッションキー（エンジンキー）をOFFすることにより「0」に戻ります。この時、学習レベルは保持されます。



4 **現在地** ボタンを押して、自車位置画面に戻します。

5 車を2km以上走行させます。

- 車速パルス信号を感知し、GPS信号が受信されている状態で2km以上走行すると、学習が開始されます。
- 走行後、車を安全な場所に止め、手順3と同じように「車速カウンタ」の数値を確認し、数値が変わっていれば車速パルスは正常に動作しています。

数値が変わらない場合は、もう少し走行してみるか再度、接続を確認してください。

別売の車速パルス発生器（NVE-K300）を接続のお客様へ
数値が変わらない場合は、もう少し走行してみるか、NVE-K300の説明書をご覧の上、接続を確認するかまたはタイヤの磁化をやり直して下さい。

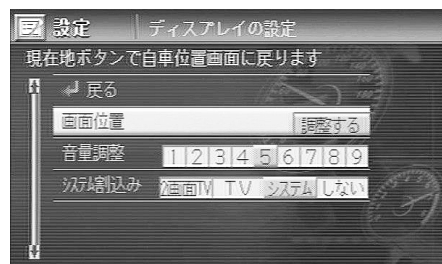
9. 画面表示位置を動かす

接続モニターにより、画面表示がずれてしまう場合があります。次の手順で修正ができます。

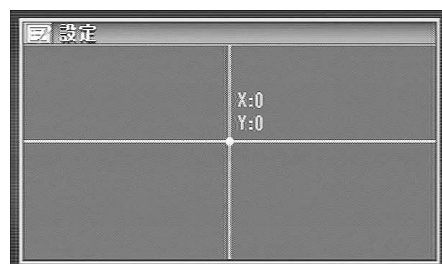
1 **メニュー** ボタンを押して、**ジョイスティック** $\leftarrow \rightarrow$ で「設定」を決定します。

2 **ジョイスティック** $\leftarrow \rightarrow$ で「システム」を選び、**ジョイスティック** $\uparrow \downarrow$ で「ディスプレイの設定」を決定します。

3 **ジョイスティック** $\uparrow \downarrow$ で「画面位置」を決定します。



4 **ジョイスティック** を上下左右に倒して位置を調整して決定します。
上下方向に2単位、左右方向に10単位まで動かせます。



目安として、四角枠の余白が均等になるように調整することをお勧めします。

5 **現在地** ボタンを押して、自転車位置画面に戻します。

Handwriting practice area with 20 sets of horizontal dotted lines.

Handwriting practice area with 20 sets of horizontal dotted lines.



正しい取り付け
正しい操作で
安全運転



- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- 〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号
- Phone : 03-3779-0711 FAX : 03-3494-1767
- 電話受付時間 土日祝日、弊社休業日を除く9:30~17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXかハガキをおすすめします。
- ナビゲーションをお買い上げのお客様には、ユーザー登録をして頂くと、アルパインホームページ上からE-mailでのお問い合わせができます。どうぞご活用ください。
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>